

本日（9月18日）は、第3回 若者と地域の協創活動 in いなべ市藤原町鼎地区でした。

これまでは、地域の方々と学生の距離を少しでも短くするため、地域のイベントなどに参加してきました。今回からは、空き家を拠点に鼎地区も盛り上げるためには、地域外の人に鼎の魅力を知ってもらう必要があると考え、鼎地区では「あたりまえ」でも、地域外の人には「魅力」である地域の資源を掘り起こす活動を行っていきます。

午前中は地区の方々とともに、徒歩で地区内を散策し、いのししのお風呂や、電柵の中にあるクラインガルテン、そば道場、唯一の鼎歴史博物館、鼎塚などのスポットを巡りながら、「あたりまえ」を探しました。

その後、鼎地区屈指の激坂を、ママチャリで登ってみましたが、その勾配がきついこと、さすがの学生も身体がボロボロになりそうでした。

お昼はBBQで楽しく、歓談！

午後からは、これまでの成果や、午前中の散策、地域の方々との会話の中から得られる情報をもとに、「かなえのあたりまえ」を洗い出しました。地域の方々からは、なるほどな！という声もあがり、少しずつではありますが、今後の空き家活動のヒントがでてきたように思います。

今後は、地域の多くの方々に、我々の活動が拡がり、みんなで「かなえのあたりまえ」を考え、目標とした「かなえのあたりまえ100選」が完成することを祈るばかりです。



名前が決まった空き家！



もう一つの拠点夢かなえ荘での休憩



激坂、自転車体験



学生と地域の方々に

「かなえのあたりまえ」を考える！